

## 「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹・地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2021 三鷹・三鷹教育フォーラム 2021」の開催を終えて

東京都三鷹市 教育長 貝ノ瀬 滋



教育長 貝ノ瀬 滋

令和3年11月6日(土)に全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹を完全オンラインにて無事終えることができました。

第1部全体会では、三鷹のこれからの教育についてご報告させていただきました。これまで三鷹市は、平成18年のにしみたか学園の開園を始め、平成21年までに7学園を順次開園し、市内全ての小・中学校を「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校」としました。これからは、これまでの蓄積・実践をさらに一歩前進させ「スクール・コミュニティの創造」に向けた取組の推進を図ってまいります。具体的には、個人と社会の「ウェルビーイング」、すなわち自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向けて、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもの育成を目指すこと、「個別最適な学び」の実現、地域の「コモンズ」(共有地)としての学校への移行、学校を学校教育(第1部)だけでなく学校部活動を含む放課後の場(第2部)、生涯学習やスポーツ、地域活動の場(第3部)としても活用するため、機能転換を図る「学校3部制」の構想などを紹介しました。今後も市長部局と連携を図りながら、子どもたちの将来のため、三鷹市の将来のために取組んでまいりたいと思います。



後日の文部科学省訪問時 左:末松文科大臣 右:貝ノ瀬教育長

会の冒頭には、末松文部科学大臣よりご挨拶をいただきました。コミュニティ・スクール推進への力強いメッセージをいただき、ありがとうございました。

最後になりましたが、基調講演をいただきました本連絡協議会の顧問でもあります東京大学教授・慶應義塾大学教授の鈴木寛様、第2部の各分科会においてご助言いただきました浅田様、常盤様、小川様、天笠様、CSマイスターの竹原様、井上様、鈴木様、朝倉様、そして、ご視聴いただいた皆様、大会運営等にご協力いただいた文部科学省の皆様、全国コミュニティ・スクール連絡協議会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第1部 全体会

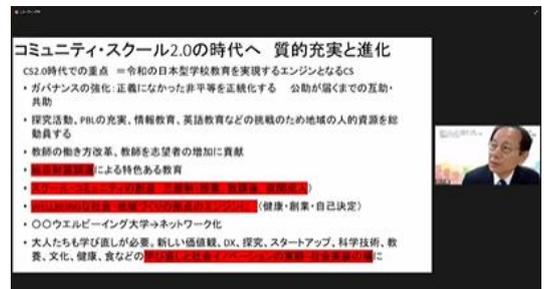


### 鈴木 寛 先生(東京大学教授・慶應義塾大学教授)の基調講演

第1部 全体会では、東京大学教授・慶應義塾大学教授の鈴木 寛 先生より「コミュニティ・スクールから始まるスクール・コミュニティの創造」を主題に基調講演をいただきました。

250年ぶりの世界・人類・地球の歴史の大転換期となるこれからの社会について、予測困難な時代に求められる人財育成について、これまでのコミュニティ・スクール

の取組の価値づけなどご説明いただきました。さらに、これまでのコミュニティ・スクールの取組をCS1.0とし、CS1.0から引き続き強化を図る取組や、CS2.0時代へ質的充実と進化を図るための具体的な取組についてお話いただくとともに、CS2.0ではスクール・コミュニティが逆に連携関係団体を活性化することもあるなど、具体的で貴重なご示唆をいただきました。



## 第2部 分科会① 実践事例発表

### 第1分科会 社会に開かれた教育課程の実現に資するコミュニティ・スクール

事例発表では、三鷹の森学園（東京都三鷹市）の山田会長、宮城学園長、室積中学校（山口県光市）の宮内教諭、春日小学校（新潟県上越市）の星野校長よりご発表いただきました。

どの学園・学校も、学校と地域とが連携したカリキュラム作りを中心に、三鷹の森学園は「学校と地域の協働によるカリキュラム・マネジメント ～社会に開かれた教育課程の実現を目指して～」、室積中学校は「学校・地域連携カリキュラムを通した小中一貫教育の推進～地域とともにある室積学園をめざして～」、春日小学校は「『謙信公スピリッツ』の具現化に資するカリキュラムづくり ～CSと協働で創る視覚的カリキュラム表の活用～」と題して具体的な取組等についてお話をいただきました。



上段左から福島校長（司会）、宮城学園長、山田会長、  
下段左から星野校長、宮内教諭



浅田様の助言の様子

発表後の質疑応答では、社会に開かれた教育課程の実現を推進していくためにカリキュラム・マネジメントの進行管理や地域との連携のコーディネート役の人の役割等についてのご質問をいただき、それぞれの発表者よりご回答いただきました。

その後、国立教育政策研究所長 浅田 和伸 様より、コミュニティ・スクールについて丁寧に説明いただくとともに、コミュニティ・スクールと教育課程や、これからの教育についてご示唆いただく貴重なお話をいただきました。

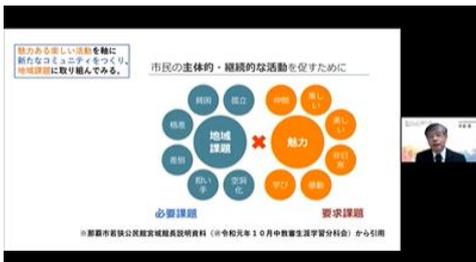
### 第2分科会 地域の課題解決に資するコミュニティ・スクール

事例発表では、鷹南学園（東京都三鷹市）の吉田会長、内藤学園長、大槌町教育委員会（岩手県大槌町）の菅野専門官、栃木市教育委員会（栃木県栃木市）の木村主幹と寺尾小学校の君塚地域コーディネーターよりご発表いただきました。

鷹南学園は、学校問題を地域とともに解決した学園での取組や、子どもや地域の未来を作る学校と地域との連携について、大槌町教育委員会は、東日本大震災津波からの復興に、コミュニティ・スクールとして取り組んできたことについて、栃木市教育委員会は、とちぎ未来アシストネットとコミュニティ・スクールで育む人づくり・絆づくりについて栃木市立寺尾小・中学校における具体的な取組を交えながらお話をいただきました。



上段左から山下校長（司会）、内藤学園長、吉田会長、  
下段左から菅野専門官、木村主幹、君塚地域コーディネーター



常盤様の助言の様子

発表後の質疑応答では、地域の課題解決に資する地域との連携や、学校・地域・教育委員会の共通認識への取組、コミュニティ・スクールの一斉導入への経緯についてなど様々なお質問をいただき、発表者よりご回答いただきました。

その後、元国立教育政策研究所長 常盤 豊 様より、各発表について具体的なご助言をいただくとともに、社会教育と地域課題解決についての丁寧なお説明、更には学校評価の取組についてご示唆いただく貴重なお話をいただきました。

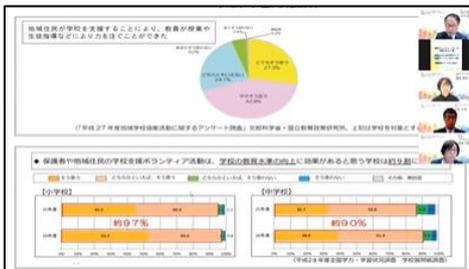
### 第3分科会 これから始める・継続していくコミュニティ・スクールづくり

事例発表では、朝日町教育委員会（富山県朝日町）の上田指導主事、牧之原市立萩間小学校（静岡県牧之原市）の櫻井校長、京都市立西総合支援学校（京都府京都市）の中西教頭よりご発表いただきました。

朝日町教育委員会は、令和4年度よりコミュニティ・スクールとして学校運営協議会と地域学校協働本部を同時に立ち上げるとともに、保小中一貫教育も同時にスターさせる取り組みについて、萩間小学校は、令和2年度に立ち上げたコミュニティ・スクールの準備の取組や立ち上げ後の状況等について、平成17年に特別支援学校としては最初に立ち上げた西総合支援学校は、これまでの取組やコロナ禍にかける地域とのかかわりなどのこれからの取組についてお話をいただきました。



上段左から四柳統括 SC 推進員（司会）、中西教頭、  
下段左から上田指導主事、櫻井校長



小川様の助言の様子

発表後の質疑応答では、特にこれから立ち上げようとしている方々から、学校運営協議会の委員の任命や設置について、地域学校協働本部の事務的機能についてなど様々のご質問をいただき、発表者よりご回答いただきました。

その後、東京大学名誉教授・放送大学特任教授 小川 正人 様より、学校運営協議会と地域学校協働本部の関係を分かりやすくご説明いただくとともに、学校運営協議会の立ち上げや継続させていくうえでの留意点のご示唆いただく貴重なお話をいただきました。

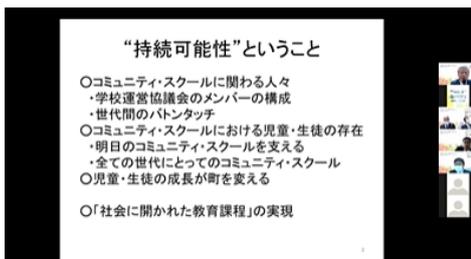
### 第4分科会 これまでの取組を生かした持続可能なコミュニティ・スクールづくり

事例発表では、にしみたか学園（東京都三鷹市）の佐藤会長、青木学園長、大町市立大町北小学校（長野県大町市）の宮入校長、和歌山県立橋本高等学校（和歌山県）の井筒校長よりご発表いただきました。

各学園・学校が「これまでの取組を生かした持続可能なコミュニティ・スクールづくり」のテーマのもと、にしみたか学園は、学校運営協議会の組織づくりやその活動、「にしみたか学園アクションプラン」の策定について、大町北小学校は、地域と保護者が主体となって運営するコミュニティ・スクールや「北小カフェ」の取組について、橋本高等学校は、中学校との連携を踏まえた総合的な探究の時間における生徒による市政への提言などの学習支援の取組や地域貢献活動、学校評価について具体的にお話をいただきました。



上段左から山口参与（司会）、青木学園長、佐藤会長、  
天笠先生、下段左から井筒校長、宮入校長



天笠様の助言の様子

発表後の質疑応答では、それぞれの具体的な取組についてより詳しく取組のきっかけや、予算、取組状況、運営方法などのご質問をいただき、発表者よりご回答いただくとともに、コミュニティ・スクールを持続可能にする秘訣を一言で表していただきました。

その後、千葉大学名誉教授 天笠 茂 様より、各学園・学校の取組についてご助言いただくとともに、社会に開かれた教育課程の視点から「持続可能性」についてご示唆いただく貴重なお話をいただきました。

## 第2部 分科会② 三鷹市コミュニティ・スクール実践発表



### A 分科会

#### 東三鷹学園 CS 委員会による CS 委員と子どもの熟議

「子どもに身に付けさせたい力、子ども自身が身に付けたい力」をテーマに CS 委員と子どもがともに熟議する。そのための準備や熟議までの工程などを動画にまとめて発表しました。



左から東三鷹学園の倉田会長、矢島学園長、竹原マイスター

動画視聴後には、文部科学省 CS マイスターで特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表の竹原和泉様よりご助言いただきました。

### B 分科会

#### おおさわ学園 CS 委員会による CS 委員の熟議

学校教育、授業の充実を図るため「地域資源の活用等」をテーマに CS 委員が熟議する。その学校運営協議会の一部や熟議の様子を動画にまとめて発表しました。



左から井上マイスター、おおさわ学園の勝野学園長、三瓶会長

動画視聴後には、文部科学省 CS マイスターで天沼小学校学校運営協議会会長職務代理者の井上尚子様よりご助言いただきました。

### C 分科会

#### 三鷹中央学園 CS 委員会による教員と CS 委員との 100 人熟議

学園の「パワーアップアクションプランの改訂」に向けて CS 委員と教員がともにオンラインツールを活用し熟議の様子を動画にまとめ発表しました。



左から鈴木マイスター、三鷹中央学園の小林会長、小坂学園長

動画視聴後には、文部科学省 CS マイスターで栃木市地域政策課栃木公民館係社会教育指導員の鈴木廣志様よりご助言いただきました。

### D 分科会

#### 連雀学園 CS 委員会による子ども熟議

「子どもが考えるこれからの連雀」をテーマに CS 委員が中心となり子ども熟議を実施する。その準備や子どもたちへの指導、熟議当日の様子を動画にまとめて発表しました。



左から朝倉マイスター、連雀学園の藤原学園長、門協会長

動画視聴後には、文部科学省 CS マイスターでふじみ野市立大井小学校長の朝倉美由紀様よりご助言いただきました。

## 令和4年度 全国コミュニティ・スクール研究大会

### くすまち 大分県玖珠町で開催決定!!

当日は、玖珠町の梶原教育長よりご挨拶をいただきました。アーカイブにも掲載していますので、ぜひご視聴ください。

大会前日の11月5日に全国コミュニティ・スクール連絡協議会の総会をオンラインで開催し、出席評議員により全ての議案について承認されました。会員の皆様には、報告資料を別途お送りします。

### 全国大会アーカイブ

当日配信した動画等については、全国 CS 連絡協議会の HP で順次公開します。

➤全国 CS 連絡協議会 HP



なお、令和4年1月中旬には、文部科学省 YouTube チャンネルでも公開しております。

➤文部科学省 YouTube



## 全国コミュニティ・スクール連絡協議会

事務局 東京都三鷹市教育委員会 教育部教育政策推進室  
〒181-8505 東京都三鷹市下連雀九丁目 11 番 7 号  
電話 0422-45-1151 (内線 3221)  
電子メール kyouikuseisaku@city.mitaka.lg.jp  
ホームページ <http://www.japan-cs.org/>